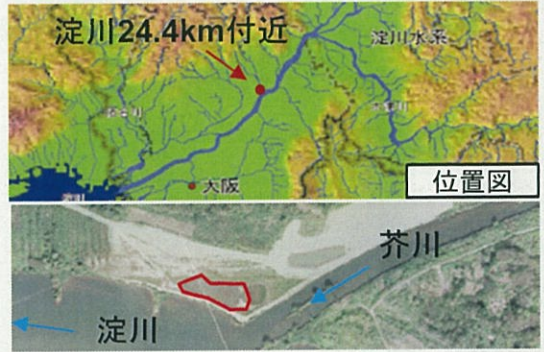


淀川唐崎ワンド観察会を行いました

淀川では、多様な生物の生息・成育・繁殖環境の再生を目的に、自然再生事業としてワンドの整備を行っています。今回は、整備したワンドにおいて、どのような生物が生息しているか NPO・高槻市と整備局職員が連携して地域住民と観察会を行いました。

活動概要

- 芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク（愛称：芥川倶楽部）が主催で唐崎ワンド観察会を行いました。
- 日時：平成28年4月23日(土)午前10時～午後12時
- 参加人数：約40人
- 会場：高槻市唐崎ワンド(淀川24.4km付近)



観察会のようす

○実際にワンド内に入り、水中の生物を採取しました。当日のワンドは底がぬかるんでおり、田んぼ状態でした。足をとられながらもワンド中央に突き進み生物採取に励む参加者もおられました。



多くの方に集まっていただきました。



胴長や網を使用し生物を採取しました。



NPOの方から解説を受けました。



巻貝・二枚貝



ヌマエビ類

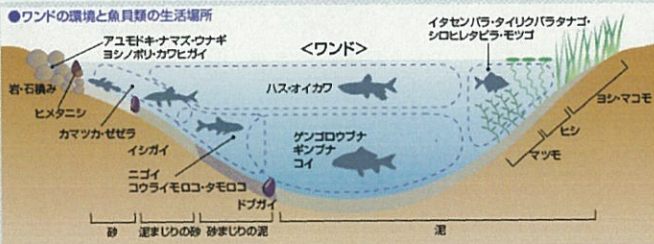


タウナギ



外来種：ミシシippアカミミガメ

～唐崎ワンドに生息していた生物～



良好なワンドを代表するイタセンパラ

講習会終了後にNPOの方に個別に質問している地域住民の姿がありました。「また参加したい」という多数の声も頂けました。

【問い合わせ先】
国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 河川環境課
〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目2-10
TEL 072-843-2861 (代)



ワンドは淀川における固有種を含む多様な在来生物の生息・成育・繁殖に重要な水陸移行帯です。今回の観察会では確認できませんでしたが、代表種であるイタセンパラの産卵母貝である二枚貝はたくさん見つけることができ、今後に期待できそうです。